

復興の進捗状況

【気仙沼・本吉地域版】

平成27年10月1日

宮城県

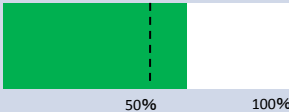
この『復興の進捗状況』は、宮城県が取り組む気仙沼・本吉地域の復旧・復興事業について、その進捗状況等を表したものです。

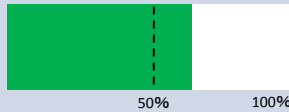
インフラ施設などの項目については、事業の進捗に応じて、事業の着手段階における進捗と事業完了段階における進捗の両方を記載しています。「着手」は、工事請負契約を締結したものを示し、「完成」は工事が完了したものを示しています。

公共土木施設災害復旧事業・インフラ関連

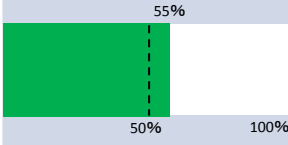
項目	(着手・完成箇所数) ／(被災箇所数)	進捗率
道路・橋梁施設 (復旧工事) 被災箇所数: 道路 111か所 橋梁 14か所	着手箇所数: 118か所 (H27/9末現在) 完成箇所数: 96か所 (H27/9末現在)	着手 約94% 完成 約77%
河川施設 (復旧工事) 被災箇所数: 21か所	着手箇所数: 21か所 (H27/9末現在) 完成箇所数: 3か所 (H27/9末現在)	着手 100% 完成 約14%
海岸保全施設 (復旧工事) 被災箇所数: 33か所	着手箇所数: 30か所 (H27/9末現在) 完成箇所数: 3か所 (H27/9末現在)	着手 約91% 完成 約9%
港湾施設 (復旧工事) 被災箇所数: 11か所	着手箇所数: 10か所 (H27/9末現在) 完成箇所数: 3か所 (H27/9末現在)	着手 約91% 完成 約27%

経済・商工関連

項目	(営業・稼働事業者数) ／(被災事業者数等)	復旧状況						
被災商工業者の 営業状況 商工会議所・商工 会の被災会員数： 1,332会員 (H27/3/31)	 <p>67%</p> <p>50% 100%</p> <table border="1"> <tr> <td>廃業</td> <td>382会員</td> </tr> <tr> <td>未定</td> <td>59会員</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>441会員</td> </tr> </table>	廃業	382会員	未定	59会員	計	441会員	約67% うち仮復旧中22% 営業継続会員数： 891会員 ※廃業除く：約94% (H27/3/31現在、県調べ)
廃業	382会員							
未定	59会員							
計	441会員							

項目	進捗率 (完了事業者数) ／(交付決定事業者数)	復旧状況
中小企業等 グループ補助金 による支援状況 認定 944事業者 (H27/3/31)	 <p>69%</p> <p>50% 100%</p>	約69% 完了 651事業者 (H27/3/31)

観光関連

項目	(現在値) ／(震災前値)	回復状況
観光客入込数 H22年 362万人	 <p>55%</p> <p>50% 100%</p>	約55% H26年 200万人 (H26年速報値)

雇用関連

公共職業安定所の有効求人倍率

	県全体	気仙沼
H23年4月	0.44	0.19
H27年7月	1.38	1.56

雇用情勢(H27年7月)【資料出典：ハローワーク気仙沼】

有効求職者数※ 1, 349人
 【震災直前(H23.2)：1, 778人】
 【ピーク時(H23.6)：6, 325人】
 ※有効求職者：震災による失業者、震災以外の理由による失業者、震災前からの失業者等

宮城県事業復興型雇用創出助成金による雇用創出の取組

期間の定めのない雇用等を行った民間事業主等への支援
 実績：729社、2,592人(延べ数・申請ベース)(H27/3/31)

農業関連

項目	(着手・完成面積等) ／(復旧対象面積等)	進捗率
農地 (除塩含む) 復旧対象面積: 約 1,130ha ※年度別復旧計画 H23 120ha H26 125ha H24 555ha H27～20ha H25 310ha		着手 約 98% 着手面積: 約1110ha(H27/9末現在)
		完成 約 64% 完成面積: 約719ha(H27/9末現在)
農地海岸 対象箇所数: 20箇所 ※年度別復旧計画 H24 8か所 H26 7か所 H25 4か所 H27 1か所		着手 約 95% 着手箇所数: 19か所(H27/9末現在)
		完成 約 45% 完成箇所数: 9か所(H27/9末現在)

項目	(被災後作付面積) ／(被災前作付面積)	作付状況
水稲 (管内市町 作付面積) H22年産米作付 面積:1,014ha (管内2市町)		約70% H27年産水稲作付 面積:711ha (管内2市町) 生産数量目標面積 (H27.5 市町取りまとめ)
	今後の復旧の見込み H28 100%	

項目	(復旧面積) ／(復旧対象面積)	復旧率
園芸 (園芸用ガラス室・ ハウス復旧面積) 被害面積11.3ha のうち 復旧対象面積: 約5ha (H23/3/11)		100% 復旧面積:5.1ha (H27/9末現在)

林業・水産業関連

項目	(着手・完成箇所数) ／(被災箇所数)	進捗率
治山施設 (山地・海岸) 被災箇所数: 9か所 ※今後の復旧見込み H26～H29 4か所に着手 7か所完成		着手 約56% 着手箇所数: 5か所(H27/9末現在) 完成 約22% 完成箇所数: 2か所(H27/9末現在)
林道施設 被災箇所数: 9か所 ※今後の復旧見込み H27 9か所完成		着手 100% 着手箇所数: 9か所(H27/9末現在) 完成 約89% 完成箇所数: 8か所(H27/9末現在)
項目	(被災後製品出荷額) ／(被災前製品出荷額)	復旧状況
木材加工工場 の製品出荷額 H22製品出荷額: 約3億円 (主要工場3社) ※震災で生産停止		約160% H26製品出荷額: 約4.8億円 主要工場3社について、 全て復旧が完了し、操 業中

項目	(着手・完成箇所数) ／(被災箇所数)	進捗率
漁港 (復旧工事) 被災箇所数: 558か所 ※被災漁港数60港のす べてに着手。		着手 約90% 着手箇所数: 502か所(H27/8末現在) 完成 約43% 完成箇所数: 238か所(H27/8末現在)
項目	(被災後数値) ／(被災前数値)	復旧状況
漁船 震災前の稼働漁 船隻数: 約3,600隻 (H23/3/11)		約95% 今後の復旧見込み ～H28/3 約190隻 稼働隻数: 約3,410隻 (H27/8末現在)
主要魚市場の 水揚状況 H22の水揚金額: 約240億円 (約11万ト) (H22/1～H22/12)		約80% H26の水揚金額: 約191億円 (約8.7万ト) (H26/1～H26/12)

復興に向けた管内の動き

大規模トマト養液栽培施設が完成 (平成27年9月3日)

東日本大震災で甚大な津波被害を受けた気仙沼市本吉町小泉地区に、県内最大規模のトマト養液栽培施設(2ha)が完成し、平成27年9月3日に落成式が開催されました。関係機関や地権者、従業員など約100人が出席し、代表の今野社長から「施設の稼働を機に地域の産業復興と雇用創出に取り組んでいきたい。」とあいさつがありました。施設の目の前に広がる小泉海岸がサーフスポットであることにちなみ、生産されたトマトは'波乗りトマト・とまたん'と命名され、10月からの出荷を予定しています。



今野社長のあいさつ

(気仙沼地方振興事務所農林振興部)

気仙沼冷凍水産加工業協同組合冷凍・冷蔵施設建設工事 地鎮祭の開催(平成27年8月27日)

気仙沼冷凍水産加工業協同組合では、震災で被災した施設の代替として、気仙沼市赤岩港地区に保管能力約6,000トンの冷凍・冷蔵施設を整備することとしています。

このたび、本格的な着工の前に地鎮祭が催され、関係者の方々が工事の安全と水産業の復興を祈願しました。

完成後は、気仙沼港に水揚げされる加工原魚の保管することとしており、気仙沼の水産業の発展を支える施設として期待されます。



地鎮祭の様子

(気仙沼地方振興事務所水産漁港部)

原木しいたけ(露地栽培)の出荷制限解除

原発事故による放射性物質被害により管内では、平成24年4月11日から出荷制限となりましたが、生産再開に向けて生産者へ支援した結果、平成27年7月と8月、南三陸町と気仙沼市で一部解除になりました。

今秋から、安全安心でおいしい地元の原木しいたけが御賞味いただけます。

(気仙沼地方振興事務所農林振興部)



栽培例: 地面にビニールシートを敷いて放射性物質の跳ね返りを防ぎます

鮭立海岸保全施設(防潮堤)整備事業に係る説明会の開催(平成27年8月8日)

鮭立漁港海岸保全施設(防潮堤)整備にあたり、防潮堤の計画高さについて昨年9月に地区住民の御理解を頂いており、その後、防潮堤の配置計画について意見交換してきましたが、今回、地区住民の皆様御理解を頂くことができました。

今後は、現地測量調査や詳細設計を経て、平成29年度の工事完成を目指します。

(気仙沼地方振興事務所水産漁港部)



説明会の状況

発行：宮城県気仙沼地方振興事務所地方振興部

電話：0226-24-2593 E-mail:kstssss@pref.miyagi.jp

ホームページ：<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/ks-tihouken-e/>